

教育シンポジウム in 相生 記事 (R4.10.2 実施)

於:相生市民会館なぎさホール

学びの多様性について考える

～教育シンポジウム in 相生～



10月2日、相生市文化会館なぎさホールで、教育シンポジウム in 相生が開催され、アルパ奏者の内海淳子さん Kayo さんによる引き語りや、森孔明校長による基調提言、パネルディスカッションが行われた。

主催したのは、広域通信制・単位制高等学校の相生学院高等学校で、今後の様々な学びの多様性の必要性和意義を確認し合い、発信していく

ことなどを目的に初めて開催した。

このうち、パネルディスカッションでは、元神戸北のホテル取締役総支配人で翻訳家の市谷敏さんをはじめ、3人がパネリストとして参加し、現在の若者達の気風や課題、今後どのような取り組みをしていけば良いかをテーマに意見を交わした。

相生市出身でパネリストの一人、姫路の株式会社ココモの代表取締役を務める唐土誠さんは「今は目標の立て方が分からない人の相談が多い。方法論ではなく、まず目標の設定方法、どんな人生を送りたいかよく考えることが大事」と、目標を持つことの大切さを述べた。

最後に森和明理事長が「教育者側は良い先生、指導者をつけて、子ども達に色々な道を作って導いていきたい」と語り、シンポジウムを締めくくった。

なお、相生学院高等学校では来年度の入学願書を受け付けているので、問い合わせは左記まで。

☎ 24-01100

相生ライフ(R4.10.16)